

|し|ま|ね|海|洋|館|機|関|誌|

# 神話の海から

Vol. 37  
2023

特集 わたしたち

こうやって寝るんです

# わたしたち こうやって寝るんです

## 魚たちの場合

多くの魚たちにはまぶたがないため、目を開けたまま寝ています。見た目では起きているのか寝ているのかわかりにくいですね。

### 泳ぎながら寝るタイプ

#### マイワシ

常に泳いでいないと呼吸できないため、泳ぎながら休んでいます。休む時は、泳ぐスピードがゆっくりになります。

#### ウエ



岩のくぼみに身を潜めて寝ます。

#### コブダイ



### 色が変わるタイプ

#### タカサゴ

昼間は鮮やかな青い体色ですが、寝る時は赤くなります。赤色は、水中の暗いところでは黒に見えることから、目立たない色になっていると考えられています。



#### カスミチョウチョウウオ

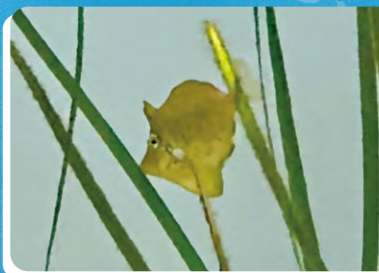
夜の海や周囲の岩などに紛れやすくするために、昼間白かった部分が寝る時に黒くなります。



### つかまるタイプ

#### アマメハギ

夜間、波に流されないように海藻を口にくわえて寝ます。



殻を固めて寝るタイプ

#### スジブダイ

エラから粘液を出して、厚みのあるゼリー状のまゆを作り体全体を覆います。サンゴで体が傷つかないようにしたり、匂いを消して襲われにくくしたり、寄生虫の侵入を防いだりするためです。



### 岩やサンゴの間で寝るタイプ

#### モンガラカワハギ

岩やサンゴの隙間に入って休みます。アクアスでは、テーブル状のサンゴの上で休むこともあります。小さな魚たちも枝状サンゴの隙間などに隠れて休みます。



#### アカモンガラ

### ベッドで寝るタイプ

#### ハマクマノミとタマイタダキイソギンチャク

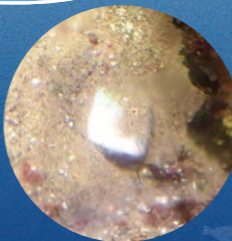
褐虫藻と共生するタマイタダキイソギンチャクは、昼間は太陽の光を浴びて体内の褐虫藻に光をあて、夜は触手をしぼませます。ハマクマノミは、この丸まったイソギンチャクの中で寝ます。クマノミは特殊な粘液のおかげでイソギンチャクの毒針に刺されないで、クマノミにとってイソギンチャクは、安心して眠れるベッドのようです。



### 砂に潜るタイプ

#### キュウセン

体を横にして砂に潜って寝ています。



#### トラフグ

砂に潜る習性があり、頭だけを砂から出して体を休めます。頭から豪快に砂をかき分けて潜ります。フグの種類によっては、岩の上でじっとして寝ることもあります。



#### キンアナゴ

昼間、餌を食べるときに砂から体を出して、体を揺らす姿が可愛らしいですが、夜になると襲われないよう頭の先まで穴に潜って過ごします。



#### ホタテウミヘビ

夜行性なので、昼間は砂に潜って寝ています。アクアスの個体は、壁とパイプの間でU字型になっていたりと、砂の上で全く動かないこともあるため、お客様から心配されます。寝相が独特なだけなので安心してくださいね。



### 底でじっとするタイプ

#### ネムリブカ

ネムリブカは夜行性で、昼間は底でじっとしてよく寝ています。外敵に襲われる危険が少ない水槽の中では、無防備にお腹を上に向けて寝ることもあります。時には、他のサメを枕のようにしていたり、エイの下敷きになったまま寝ていたり、水族館ならではの面白い寝かたが見られます。





# わたしたち こうやって寝るんです

## ニホントカゲ

昼行性のため、夜は物陰などに隠れて休みます。

眠るときはまぶたを閉じています。アクアスでは、昼間でも寝ている姿が見られることもあります。

一方ヤモリの仲間にはまぶたがなく夜行性ですが、アクアスで展示中のオオヒルヤモリは名前のとおり、昼行性です。

## 爬虫類の場合

## アカウミガメ

ウミガメは肺呼吸で、寝ている間はまぶたと鼻の穴をしっかりと閉じます。自然界では岩やサンゴの間に体を固定させて眠り、数十分～数時間に1回、息継ぎのために水面まで上がります。息継ぎのためには、ダイバーが使う掃除用のホースを浮き輪代わりにして水面で休んでいることもあります。



## シロイルカの場合

シロイルカは片方の脳だけで活動してもう片方の脳を休ませる、ということが出来ます。例えば右脳が起きている間は左脳を休めている、といった具合。このような寝かたは半球睡眠といい、寝ている脳とは反対側の眼が閉じられています。



## ペンギンの場合

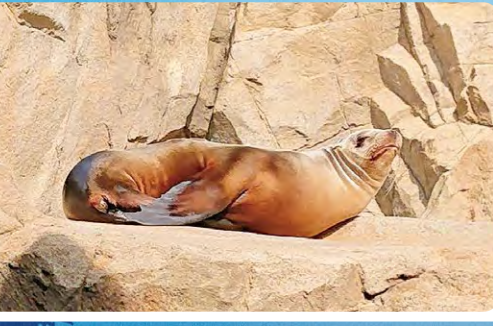


ペンギンのからだは羽でおおわれていますが、よく見るとくちばしや足は地肌です。そのため、寒いときには頭をひっくり返してくちばしは翼の下へ、足はつま先をあげて眠っていることがあります。反対に暑いときは羽を広げ、氷をおなかにつけて寝ていることも。フンボルトペンギンやジェンツーペンギンでは、ペアで寄り添って寝ているところもよく見かけます。



## カリフォルニアアシカの場合

岩場など陸上で寝ます。あまりに普通過ぎるので余談を1つ。アシカには毛が2種類(上毛と下毛)生えており、このうち下毛には空気を閉じ込める働きがあります。つまり下毛が多いほど水に浮かびやすく、水の上でも楽に寝ることが出来ます。そのため、回遊するオットセイは下毛が多くなり、基本的に陸の近くでくらすカリフォルニアアシカは下毛が発達しなかったと考えられています。その代わり早く泳いだり深く潜ったりするのはオットセイよりも得意なんですよ。

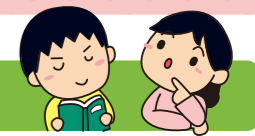


## なんだそれ!? いろんな寝かた

普段見回りをしていると、「なんだそれ!?'と思うような寝かたのアザラシをよく見かけます。もっと寝やすい体勢もあるだろう、そんなアザラシたちのいろんな寝かたを少しご紹介。



# むずかしいはなし



## ストランディングって何?

本来は海にいるべき生物が陸地に打ち上がってしまい、自力で生息域に戻ることができなくなることを「ストランディング」といいます。生きた状態で陸に打ちあがること(座礁)だけではなく、死んだ状態で海岸線に流れて来たり打ちあがったりすること(漂流・漂着)、定置網等に入ってしまうこと(混獲)などもストランディングとして扱われます。最近では大阪湾の淀川河口に大きなマッコウクジラが迷い込んで(迷入)ニュースになっていましたが、これもストランディングの1つです。ちなみに2頭以上が同時にストランディングすることを「マスストランディング(集団座礁)」といいます。



貴重な全身骨格標本を作製 ↓ オウギハクジラ漂着

ストランディングの原因として「何かの病気で体が弱った」「餌を追って戻れなくなった」「磁場の影響で方向が分からなくなった」「寄生虫に感染して感覚障害を起こした」など、さまざまな理由が考えられていますが不明な場合が多くあります。特にマスストランディングの原因は、まだはっきりと解明されていません。



オウギハクジラ骨格展示

島根県の海岸は総延長で1000km以上あり、ストランディングが多くみられる県です。アクアスでも2000年のオープン以来、数々のストランディングに対応してきました。鯨類では「ミンククジラ」「オウギハクジラ」「バンドウイルカ」「マダライルカ」「カマイルカ」「スナメリ」等が記録され、「ゴマフアザラシ」「キタオットセイ」といった鯨脚類のストランディング記録もありました。



カマイルカ漂着



キタオットセイ混獲

生きてストランディングした生物を海にリリースすることも重要ですが、もし死んでいたとしても、その個体の情報を収集、分析することで、その海生生物の分布や回遊といった貴重なデータを得ることが出来ます。またそれらのデータをたくさん積み重ねることで、その海にくらしている生物の生態解明、保護、保全に役立つことにもつながります。

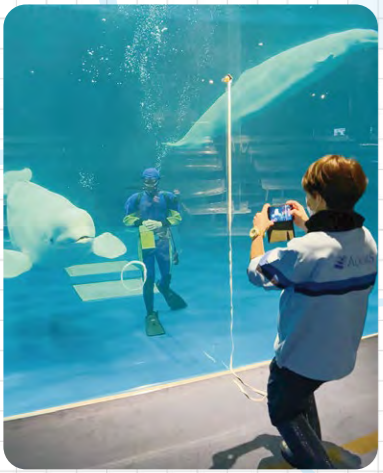


カマイルカDNAサンプル採取



身近な海にクジラやイルカ、何だかよくわからない生物が現れた場合、生きている場合はもちろん、死んでいても構いませんので、ぜひアクアスまでお知らせください。皆様のご協力をお願いします。(海獣展示課海獣係 平野 大介)

# AQ&As アクアスしつもんコーナー



## Q 幸せのバブルリングはだいたい何センチですか？

(島根県 ペンネーム ビーナッツさん)

何センチなのでしょうね？ そういえば意識して見たことがありませんでした。では調べてみましょう！ ガラスにメジャーを引っ付けて、そこへバブルリングを作ってもらい大きさを計測。結果は…約15cm！ だいたい予想通りでした。調べている最中、ふと気になったので、バブルリングの進化版であるマジックリングも計測してみることに。その大きさは…なんと50cm！ 想像していたより大きい！ いつも見ているリングに今更驚かされるとは、シロイルカはなんて魅力的なんですよ！！

## Q シロイルカにはダイバーさんの好き嫌いはありますか？

(山口県 ペンネーム しょうごさん)

結論からいうと私にもわかりません！ なぜならシロイルカがダイバー1人1人をしっかり見分けられているかが不明だからです。

ダイバーの前からシロイルカがふらあ〜と離れると、ダイバーが嫌われたように見えるかもしれません。トレーニングがおもしろくないとか、ほかに気になることがあるとか、何かしら原因が

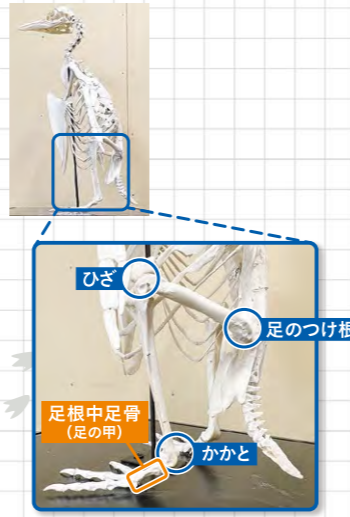
あります。例えば新人ダイバーのトレーニングはパターンが単調になりやすく、イルカにとってはおもしろくないのか、よく離れていってしまいます。だからといって嫌いかはわかりませんが、楽しいトレーニングになるように考えることはとても大切なんです。

ちなみにシロイルカたち、おもちゃの好みははっきりしています。中には飼育員が手作りした物もありますが、好んで遊ぶのは既製品のボールばかりです。試行錯誤して作ったおもちゃが床に放置されているのを見るとガーンってなりますね(笑)

## Q ペンギンはなんで手をうしろにするんですか？

(島根県 ペンネーム みおいさん)

ペンギンは足が短いように見えますが、実は体の中に長い脚の骨が隠れていて、常に中腰のような姿勢をしています。また、私たちの足の甲の骨に当たる「足根中足骨」が、他の鳥に比べて短くなっています。これらはどちらも、体から出ている部分を少なくし、寒さから身を守るためです。このような骨格をしているため、ペンギンは不安定な歩き方をしています。そこで、翼を後ろに広げることでバランスをとっているんです。



◎名前、住所、電話番号、年齢(学年)、質問を書いて  
①ハガキで質問！ 千697-0004 島根県浜田市久代町1117-2 しまね海洋館「神話の海から」係へ郵送  
②メールで質問！ school@aquas.or.jpへメール  
【件名は「『神話の海から』質問」】  
お手紙やアクアスで撮影した写真、生き物の絵なども送ってね！  
※応募いただいた作品は、審査の上『神話の海から』に掲載させていただきます。  
また、作品の返却はいたしません。

### AQ&As コーナー



## アクアメイトのぽれ話

みなさん、こんにちは！今回は、小さなお子様がいっしょに楽しめるイベントをお知らせします。



春休み・夏休み・冬休み・ゴールデンウィークをのぞく第2・第4月曜日に行われている「アクアス☆ゆったり親子の会」というイベントをご存知でしょうか？未就学のお子様とご家族を

対象とした体験イベントです。アクアスの生き物とふれあったり、工作をしたり、幅広い体験をすることができます。内容は毎回変わるので、新しい体験・発見ができること間違いなしですよ。

終了後に、体験をしたことをご家族と笑顔で話しているお子様を見ると、ご案内した私ともとても嬉しい気持ちになります。

さらにこのイベント、体験は基本無料、工作は材料費のみで参加できるのも魅力の1つです。

楽しさ満載のゆったり親子の会ですが、定員があります。当日先着順となっているため、できるだけ早めに来られることをおすすめします！

このように、アクアスでは様々なイベントを行っています。ぜひアクアスへ遊びに来てくださ〜！ (アクアメイト T.M)

## アザラシ総選挙実施！

アクアスで飼育している7頭のアザラシの人気投票を開催！インターネットや館内投票でたくさんの方が投票してくれました！

期間 2023年2月8日～2月15日 総投票数 400票

<p>1位 111票</p>  <p>だいふく</p>	<p>2位 98票</p>  <p>らいち</p>	<p>3位 63票</p>  <p>さくら</p>
---	---	---



## 一期一くらげ

日差しが少しずつ春らしくなってきた2月のある日、クラゲの姿が見え始めているか港に行ってみると、こちらのクラゲに出会いました。「チョウクラゲ」です。

アクアス周辺の海では、毎年早春～初夏にかけて見られます。体の中央には口があり、プランクトンやアミ類などを食べます。口の両側には、袖状突起があり、刺激を感じると蝶が羽ばたくように泳ぐため、採集しようとするとうまく逃げられてしまいます。

場所を変えて港をもう少し探してみると、水面がチョウクラゲだらけの場所が！こんな数のチョウクラゲに出会ったのは初めてのことだったので、クラゲ担当の私にとっては夢のような光景でした。しかし、あまりの多さにちょっとゾワッとしました。

チョウクラゲは長期飼育がなかなか難しいですが、今年も展示したいクラゲです。(魚類展示課 周藤 愛弥)



アクアスに来館された際には、帰りに海に寄って少し浜辺を歩いてみるのはいかがでしょうか。波が運んできた素敵な物が見つかるかも!! (魚類展示課 鬼塚 寿子)

それいけ！ 館長

老体にムチ打ち、ペンギンをお世話

コロナ禍、飼育員のシフトがうまく回らなくなった冬季、飼育員から「ペンギンのお世話を一緒にしませんか」との誘いに軽い気持ちで承諾。わずか5日間だったが、「ペンギン係の大変さも知る良い機会だ」と思い、二つ返事でペンギンヘルプに取り組んだ。



館長 湊直樹

イラスト / 魚類展示課 周藤愛弥

朝8:30過ぎからカッパに着替え、ペンギン館の屋内・屋外プールのお掃除。ペンギンのウンチが壁や擬岩にこびりついて、タワシでこすっただけではなかなかきれいにならない。気持ちは若い腰が悪い私は、這いつくばるようにタワシでゴシゴシ。掃除中、斜め後ろにペンギンの姿を感じ、そちらを向くとジェンツーペンギンがお尻をこちらに向けてクネクネ動かししている。「危ないっ！」「瞬間的にかわすと私の足元に「ビシュ！」。スリルと楽しさを感じるペンギンとの葛藤は、還暦の私には初めての経験。

朝のお掃除が終わると調餌室でエサの準備。今日は、エサにする魚を洗うための冷たい水との葛藤だ。ペンギンの種類ごとに用意しているバケツにそれぞれのエサを入れて計量。準備が整ったら早速朝のお食事（給餌）タイムだ。

屋外にいるフンボルトペンギンは、次々と寄ってきてくれるが、なぜか私のエサは食べてくれない。そればかりか「君は誰？」というような仕草。「仕方ないわな」とあきらめるも、それでもアジを目の前に差し出すと、啜ってくれたと思ったらすぐに「べっ！」と横に投げられる。1日目は、まったく食べてはくれなかったが、2日目には、それでも食べてくれるペンギンの数も増えていき、気分的にもできる範囲が広がったように思えた。

屋内プールでは、3種類のペンギンに給餌をするが、その際、私は、どの個体にいくらエサを与えたかを記録する役割を担った。寒い部屋の中で照明の関係もあり、加えて年のせいもあってか、記録用紙の小さな文字が見えにくい。各個体は、翼の付け根に巻かれたカラーバンドの色で個体番号が分かるようになっている。飼育員がエサを与え、その時飼育員が発する個体番号とエサ（魚）の本数を復唱しながら記録用紙に必死で書き込む。それでも2日目になると少し様子も分かってきて、「役に立っている」という喜びも湧いてきた。

3日目。「よし、今日も頑張ろう！」と言い聞かせ、屋内プールで給餌のヘルプに臨むと、飼育員が突然私に質問してきた。

「館長。今、あそこでウンチしたペンギンは、何番の個体？」

「ハア？番号？」

「白0番、赤1番、青2番、黄3番、緑4番、桃5番、紫6番、橙7番、茶8番、黒9番。これを覚えないとダメです」

「・・・」

“館長”ということだけで優しく丁寧に教えてくれるものではありません。「厳しさも優しさや期待の表れだ」と切り替え、その日のお昼休みにお弁当を食べながら必死で覚えた。午後の給餌の際、飼育員が再び「今、ウンチをしたのは何番個体？」と質問。「きたーっ」と思い、「青と桃だから25番です」と、どや顔で答えると

「違います。27番です」

「(ガクッ) 屋内プールの中は、桃と橙の判別が分かりづらいんだよね」と、ちょっと言い訳する

「個体の仕草や特徴から、バンドの色は見なくてもわかります」

「まいりました」



by オранже&がんちゃん

とっておきの1枚



ちよんまげ



ジェリーファンタジー



ポンポン



どや



ペンギンをダメにする雪

読者の皆様からも『とっておきの1枚』送ってください!

✉ school@aquas.or.jp

※応募いただいた作品は、審査の上「神話の海から」に掲載させていただきます。

発行日 / 令和5年5月